

【高等学校用】

令和4年度学校評価 中間評価

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立厳木高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に関して、基礎学力の徹底に取り組んだことで一定の成果を得た。PDCAサイクルを意識した授業改善について89%の教職員ができたが、オンライン授業のための教材開発は77%に留まっている。 ・心の健康面に関して、学校全体でのあいさつ運動や特別支援活動等の効果もあり、自己理解・他者理解が進んだ。いじめの認知に関しては、担任、学年及び管理職が綿密、且つ迅速に対応できた。 ・職員の業務改善に関しては、時間外在校等時間の平均値は23時間56分(2月末現在)であり、目標を大きく達成できた。また、広報誌「わかすぎ通信」で、学校の取組を厳木町全体で紹介することができた。
2 学校教育目標	生徒一人ひとりの個性や特性に応じたカリキュラムや体験活動を通して、地域や社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。
3 本年度の重点目標	①基礎学力の定着 ②部活動の活性化 ③あいさつ運動の促進 ④ボランティア活動の充実 ⑤広報(宣伝)活動の強化

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	○基礎学力の定着と向上 ○授業への出席率向上	○基礎力診断テストの学習到達ゾーン(GTZ)のD3層を、各学年とも70%以下にする。 ○各学年の授業への出席率を95%以上にする。	・基礎力診断テスト前の対策を各教科と連携して行う。 ・D3層の意味を理解させると共に授業の大切さを理解させる。 ・授業に出席する意義や欠課が招く事態について各教師が確実に伝える。 ・学級委員長に各クラスの出席状況を定期的に確認し、呼びかけを行う。	B	・GTZのD3層の理解を促す表を作成して各クラスに掲示し、基礎力診断テストと夏季休業の課題を運動させた。夏休み明けの結果は、D3層は1年生67%、2年生53%、3年生50%であった。 ・前期末の出席率が93.3%であった。各教師からは欠課が増えた際のリスクについて伝えてもらっているため、生徒間の意識が向上するような取組みに後期は力を入れたい。	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ○望ましい郷土愛の醸成	◎学校行事や「総合的な探究の時間」の中で社会性が向上する等、豊かな心身に身についたと感じる生徒を85%以上にする。 ○「佐賀県いじめ防止基本方針」に基づいて行動できる職員を90%以上にする。 ○「佐賀のことを学ぶ時間」を通して、郷土について関心が高まったと感じる生徒を80%以上にする。	・学校行事の中で生徒どうしが関わる場面を意識的に増やす。 ・1,2年生「総合的な探究の時間」の学習で協働的に学ぶ場面を多く設定する。 ・職員研修を実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。 ・いじめのない学校づくりのために、集会やホームルーム等で指導を行う。 ・「体験学習基礎」「故郷学」などの学校設定科目の学習内容を充実させる。 ・「佐賀語り」を用いた授業の推進や「佐賀を誇りに思う」講演会を実施する。	B	・総合的な探究の時間では、特に2年生で協働的に学ぶ時間が多く設定できている。1年生でも教材を活用してさらに増える予定である。学校行事は後期に集中している。 ・「佐賀県いじめ防止基本方針」に則り、全ての教員が、生徒が安心して学校生活を送れるように、会議などを通して各教員・保護者と連携し、いじめの未然防止・早期発見に取り組んでいる。 ・「体験学習基礎」は今年度の1年生も地域との連携の中で充実した学習ができています。「故郷学」や「佐賀を誇りに思う」講演会は後期に実施予定である。					
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○規則正しい生活リズムを確立させる。 ○朝食摂取率を70%以上にする。 ○むし歯保有率を50%未満にする。 ○むし歯受診率を30%以上にする。	・朝食アンケートを行い、生活習慣、食生活について振り返り、考えさせる。 ・学校歯科医による講演会の中で、ブラッシング指導を行う。	B	・9月のある1週間の朝食摂取率の平均は75.9%であった。朝食アンケートを11月に実施予定。 ・むし歯保有率は47.1%、歯科受診率は6.2%と低い。12月に予定している歯科講話(1年生)や受診勧告を再度行い、受診率向上を目指したい。					
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤推進日の設定(月曜日)。 ・学校閉庁日の設定(8月9日～16日)。 ・部活動で週休日以外に月に一度の休業日の設定。 ・時間外自発勤務1カ月40時間以内。 ・年次休暇10日以上取得。	B	・定時退勤推進日は月曜日に設定し、推進中。 ・学校閉庁日は8月9日～16日に実施済み。 ・部活動で週休日以外に月に一度の休業日は概ね実施できている。 ・時間外自発勤務時間は平均25時間38分/月。80時間/月超は0名。 ・年次休暇10日以上取得に向けて現在取組中。					

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○部活動	○部活動の活性化	○部活動参加率65%以上にする。 ○部室や活動場所の整理整頓と施設の徹底に関する注意喚起を年4回以上行う。	・4月に体験入部を2日間設定し、新入生全員参加を促す。 ・部活動ごとに練習計画表の発行を行う。	B	・部活動参加率69.7%である(4月末現在)。10月または11月に再度入部状況を確認予定である。 ・部室の使用状況を5月と6月に確認した。練習計画表は各部活動ごとに発行してもらう各顧問に周知し、適切に実施している。	
○あいさつ運動	◎あいさつ運動の促進	◎あいさつを通して、互いを尊重し、良い関係性を確立できるよう、運動を継続する。 ○「あいさつを積極的にやっている」と感じる生徒の数を70%以上にする。	・JR厳木駅や通学路の清掃活動とあいさつ運動を週2回実施(生徒会および部活動の輪番制)。 ・集会時や授業時の始まり、終わりのあいさつの徹底。	B	・あいさつ運動とJR厳木駅の清掃活動は定期的に実施した。 ・朝のあいさつ運動のときだけではなく、日頃の授業や集会のあいさつについても指導を継続する。					
○教育相談・生徒支援体制の充実	★通級による指導の充実及び教職員の専門性の向上	★「通級による指導」に関する専門性(手続きや指導内容等の理解)が向上した教員80%以上を維持する。	・「通級による指導(自立活動)」に関する研修会の実施。 ・「通級による指導(自立活動)」の公開授業の実施。	B	・会議等を通じて、一部の教員に対しては、「通級による指導」に関する内容や生徒の様子について周知している。全職員については、11月に授業公開及び校内研修会の実施を予定している。					
○広報活動	○広報活動の強化	○学校紹介の資料内容の精選と更なる充実を図ると共に、各種学校説明会を年間30回以上実施する。	・県主催の説明会はもちろん、各中学校に出向く機会を積極的に活用する。 ・学校説明の資料に現役生の活動を盛り込むと共に情報を精選する。	B	・管理職、教務部を中心に積極的に学校説明会の企画、実施、参加ができています。学校パンフレットや説明会用のプレゼンテーション資料に現役生の様子をさらに増やしていきたい。					

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------